

留 学 報 告 書

記入日:2019年9月17日

所属学部／研究科・学科／専攻	法学部法律学科
留学先国	スペイン
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: バレンシア大学 現地言語: Universitat de València
留学期間	2018年8月～2019年7月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	法学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年7月31日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1 学期:9月中旬～1月中旬 2 学期:2月上旬～7月上旬 3 学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約 53000 人
創立年	1499 年

留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	3520	約45万円	
食費	約 2000	約26万円	
図書費	約 100	約1万 3000円	
学用品費	約 100	約 1万 3000円	
教養娯楽費	約 300	約 4万円	
被服費	約 300	約 4万円	
医療費	約 50	約 6000円	
保険費	約 1115	14万 5000円	形態:明治大学指定の保険
渡航旅費	約 1640	21万 3000円	
雑費	約 400	約 5万円	交際費
その他	約 2300	約 30万円	旅行費
その他		円	
その他		円	
合計	11825	約 150万円	

渡航関連

渡航経路: 飛行機

渡航費用

チケットの種類 オープンチケット

往路 _____

復路 _____

合計 21万3000円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

明大サポート駿河台支店

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舎など)

ピソ(シェアハウス)

2) 部屋の形態

 個室 OR 相部屋(同居人数 _____)

3) 住居を探した方法:

SPOTAHOME(部屋探しのサイト、アプリも有り)

4) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

とてもいい部屋で大家さんも親切でした。現地の人が利用するサイトで探すといい条件の部屋を見つけやすいと思います。

現地情報

1) 現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

 利用する機会が無かった 利用した:

2) 学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

同じ大学に留学していた他大学の日本人学生。相談窓口はあったかわかりません。

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省のたびレジでメールが送られてくるよう登録していました。気候災害情報やストライキなどの情報もあり、とても助かりました。スリなど盗難にあったことは一度もありませんでした。

4) パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

部屋のインターネット接続はとても良かったです。大学でも接続環境は良かったので不自由は感じませんでした。

5) 現地での資金調達はどうに行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地で銀行口座は開設せず、日本にある口座の貯金でやりくりしていた。おもにデビットカードを利用し、現金が必要な場合はクレジットカードで引き出していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

電子辞書は持って行ってよかったと感じました。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input checked="" type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
公務員になることを考えています。
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
日本だけにとどまらず、海外などでの就職を考えるなど視野が広がったような外国を近くに感じるようになりました。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
成績証明書がまだ届いていないため不明 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Derecho constitucional I	憲法 I
科目設置学部・研究科	法学部
履修期間	1 年間
単位数	9
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が2回
担当教授	GORAN ROLLNERT LIERN
授業内容	スペイン憲法の形態について、基礎的内容を中心に進める。選挙方式なども学ぶ。
試験・課題など	論述式試験。月一で各自実践問題を考えておき、グループ活動で話し合う。
感想を自由記入	スライドを用いた授業だった。課題や試験が難しく、現地の生徒も手を焼いている印象を受けた。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Derecho Autonomico Valenciano		バレンシア自治法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	1 学期間		
単位数	4.5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回		
担当教授	VICENTE GARRIDO MAYOL		
授業内容	バレンシアの自治法について、偏ごとに概要を説明していく。		
試験・課題など	口頭試験		
感想を自由記入	主に4年生が履修する発展的科目だった。憲法を履修済みなど前提知識があったほうが理解しやすい。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Derecho Internacional Público		国際法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	1 年間		
単位数	9		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回		
担当教授	JOSE MANUEL SANCHEZ PATRON		
授業内容	国際法の理論から、それをもとにした実践問題まで取り組む。		
試験・課題など	記述問題		
感想を自由記入	発言点やビデオ鑑賞など、さまざまな方式で授業が進められた。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Derecho romano		ローマ法	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	1 学期間		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 120 分が 2 回		
担当教授	ALEJANDRO MARIA VALIÑO ARCOS		
授業内容	ローマ法について、ラテン語の専門用語を用いながら説明する。ローマの法制度や特に私法を中心に実践問題も扱いながら行う		
試験・課題など	記述問題。单元ごとにグループ活動で実践問題を解いて提出する。		
感想を自由記入	説明と実践問題演習のメリハリがある科目だった。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Instituciones jurídicas de la Unión Europea		EUにおける法的機関概要	
科目設置学部・研究科	法学部		
履修期間	2学期間		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が2回		
担当教授	EDUARDO GARCIA-LEONARDO TOBARRA		
授業内容	EUの機関の法的機能について説明する。条文も参照しながら、各機関ごとに説明する。		
試験・課題など	記述問題		
感想を自由記入	先生がひたすら口頭で説明する授業だった。		

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等

2017年 1月～3月	協定留学経験者の説明会などに参加し始める
4月～7月	明治大学の協定留学に関する情報を本格的に集め始め、語学条件などを満たすよう準備する。 行きたい国に留学する先輩に話を聞きに行く。
8月～9月	語学試験の勉強
10月～12月	協定留学派遣者選考への出願。
2018年 1月～3月	留学費用にあてるためバイトをして貯金する
4月～7月	ビザ申請のための書類集め。部屋探し。
8月～9月	留学開始
10月～12月	中間試験
2019年 1月～3月	定期試験、春季休業
4月～7月	中間試験、6月から期末試験
8月～9月	旅行、帰国。
10月～12月	語学試験

留学体験記

留学しようと決めた理由	あまり大学生活に満足しておらず、なにか取り組んでみたいとさまざまな説明会などに参加していたところ、留学フェスタに行ったときに留学してみようかと思ったのがきっかけです。もともと留学がしたいと思って大学に入ったわけではありませんでしたが、説明会で自身の体験を話す先輩方がとても印象的で自分もいろんな体験をしてみたいと思うようになりました。留学先をスペインにしたのは、第二外国語で選択していたスペイン語の授業が楽しく、国自体に興味を沸かしたからです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	語学力はもっともっと上げておくべきでした。留学先大学の学生は現地の子とかたまる印象が強く、自分から積極的に話しかけていかないと輪に入ることができませんでした。また話すスピードも速いので、それにある程度ついていけるような実践的な会話の練習をもっとすべきだったと後悔しました。また、語学力があると少しでも自負があることで、堂々と交流することができると思います。また、スペインのノートの取り方は先生が話す内容すべてをメモするのが一般的だったので、それだけの集中力とリスニング力が必要だと感じました。
この留学先を選んだ理由	第二外国語で選択していたスペイン語の授業が、1, 2 年生を通して楽しかったので次第に国自体にも興味を沸かしました。スペイン語が話される中南米も考えましたが、まずはその地域を支配したスペインに行ってみようと考えました。また、バレンシア大学を選んだのは、バレンシア語が話されていたりスペインの政治体制である自治州の特徴が分かりやすく感じ取れる地域ではないかと思ったからです。気候も温暖な地域で晴れの日が多いので過ごしやすい地域だと感じました。
大学・学生の雰囲気	大学は総合大学ということもあっていろんな学生がいました。しかしキャンパスは複数に分かれていますので、大学全体の雰囲気を感じることは難しかったです。散歩などでほかのキャンパスに行ったりすると、図書館の所蔵図書も異なるのでその違いを見つけるのは面白かったです。私が所属した法学部の学生は、あまり留学生に対してはフレンドリーではありませんでしたが、質問したりすると教えてくれるし次第に仲良くなれます。初めはしんどいですが慣れてくれば大丈夫だと思います。
寮の雰囲気	寮は費用がとても高かったので、現地の子が住むようなピソ(シェアハウス)を自分で探してそこに住んでいました。自炊ですがキッチンにいる間に同居している子とおしゃべりしたり交流があったのでピソにしてよかったと思っています。自分を含め4人全員女の子だったので、コミュニケーションがとりやすく協力して生活していました。一度トイレが壊れたときに険悪になりましたが、大家さんに修理してもらおうよう早めに対応したことで大きな問題にならずに済みました。
交友関係	初めは学部内でうまく友達が作れずだいぶ苦しかったのですが、大学が主催する国際交流イベントに参加したことによって日本好きの子と出会うことができ、でかけるようになりました。その子のつながりで、何人かまた知り合うことができたので初めはイベントに参加したほうが良いと感じました。ピソの同居人が連れてくる友達とも定期的におしゃべりしたりして、ひとり友達ができるとそこから広がっていくので焦らず交流するのも大事だと思います。
困ったこと、大変だったこと	勉強がとてもきつかったです。授業の受け方から日本とは違って、ほとんどの学生がノートパソコンでノートをとります。そのノートの取り方も先生が話す内容すべてを打ち込むというもので、鳴り響くキーボード音に初めは圧倒されました。私はそれについていくことができなかったので、スライドを中心に録音した音声を聞きながら復習していました。自分の語学力不足を痛感する日々で苦しかったです。また、はっきりと自己主張しないと置いてけぼりにされるのできっぱり発言する意識をもつように心がけていました。
学習内容・勉強について	法学部に所属して授業をとっていました。授業の形式は先生によって様々ですが、講義とグループ活動または実践演習の組み合わせは共通していました。前述したように、勉強は大変でした。ノートをとることから始まり、1回の授業でだいぶ進む上に週に2コマあり、2日間にわたって連続なので復習が追い付かなくなることもしばしばありました。現地の学生も、話を聞くと勉強が大変だと言っていたので留学生として授業に参加するのはそれほどのことなんだと自覚する必要があると感じました。

課題・試験について	課題量はあまり多くありませんでしたが、自宅である程度自習しておかないとグループ活動に影響が出るので自習は必要でした。また科目によっては週2コマのうち1コマが実践問題の解答解説だったので毎週課題がありました。試験は論述がほとんどで、試験期間は本当に苦しかったです。口頭試験という日本ではあまりなじみのない試験形式もありました。友達になった現地の子と勉強しながら教えてもらっていました。
大学外の活動について	留学生は付属の語学学校に格安で通えるので、授業と並行して通っていました。所属する法学部はあまり留学生がいませんでしたが、語学学校に通うことによってスペイン以外の国の子たちとも交流するきっかけになりました。また、週末は SNS で得た情報などでイベントに出かけたりしました。少し後悔していることはもっと学外活動にも取り組みればよかったということです。勉強だけで過ごすのはもったいなかったと今になって気づきました。
留学を志す人へ	留学すると決めたら、それに向かって貪欲にいろんな準備に取り組むことが大切だととても感じます。語学はもちろん、書類の準備や費用の確保などたくさんのことを考えて、それぞれ取り組まなければ留学は実現しません。ですが、それらをやり切ることは留学生活で経験する困難にも対応できるようになるための練習だと思ってこなしていくといいと思います。そして貪欲に真剣に向き合うほどいろんなことに出会い、経験できると感じます。楽しみながら、留学実現へむかって進んでいってください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	語学学校		語学学校				
	ローマ法	ローマ法	憲法	憲法	自習	買い物	自習
午後	ローマ法	ローマ法	憲法	憲法	自習	友人と出かける	同居人と食事
	自習	自習	自習	自習	国際法	友人と出かける	
夕刻	バレンシア自治法	バレンシア自治法		国際法	国際法	自習	復習
夜	同居人と食事	復習	同居人と食事	復習、スペイン語のドラマ鑑賞		スペイン語のドラマ鑑賞	スペイン語のドラマ鑑賞